

第4章 公害苦情

1 概要

平成24年度の公害苦情受付件数は204件で、前年度から増加しています。種類別では、騒音に関する苦情が72件と最も多く、次いで悪臭、大気汚染、水質汚濁、振動の順となっています。(図4-1、図4-2)

なお、騒音、振動、大気汚染、悪臭関係の苦情は環境政策課で、水質汚濁や土壌汚染に関する苦情は水保全課で対応しています。

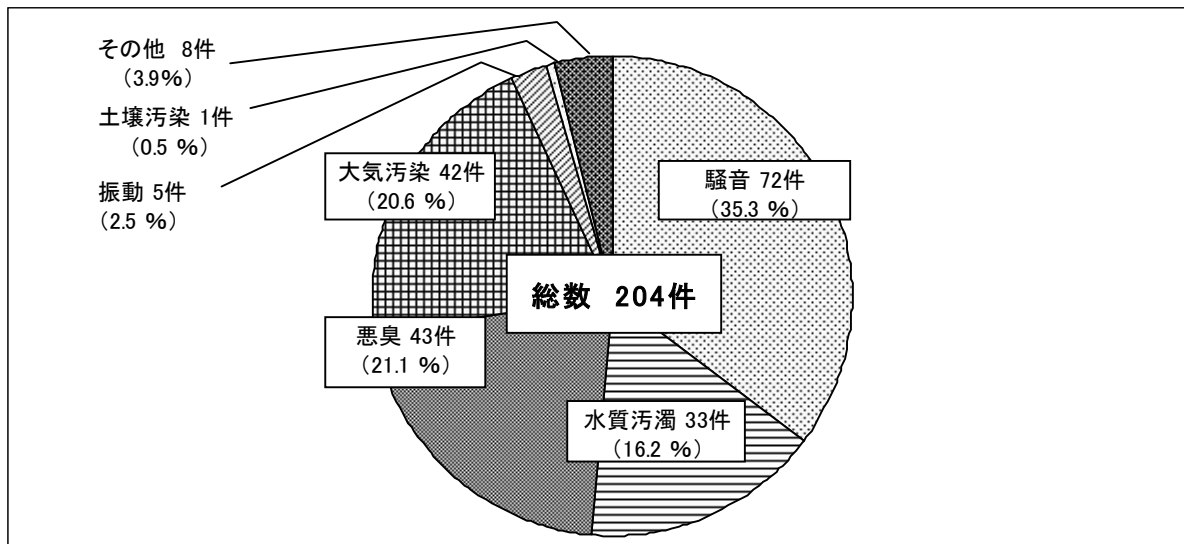


図 4-1 公害苦情の内訳

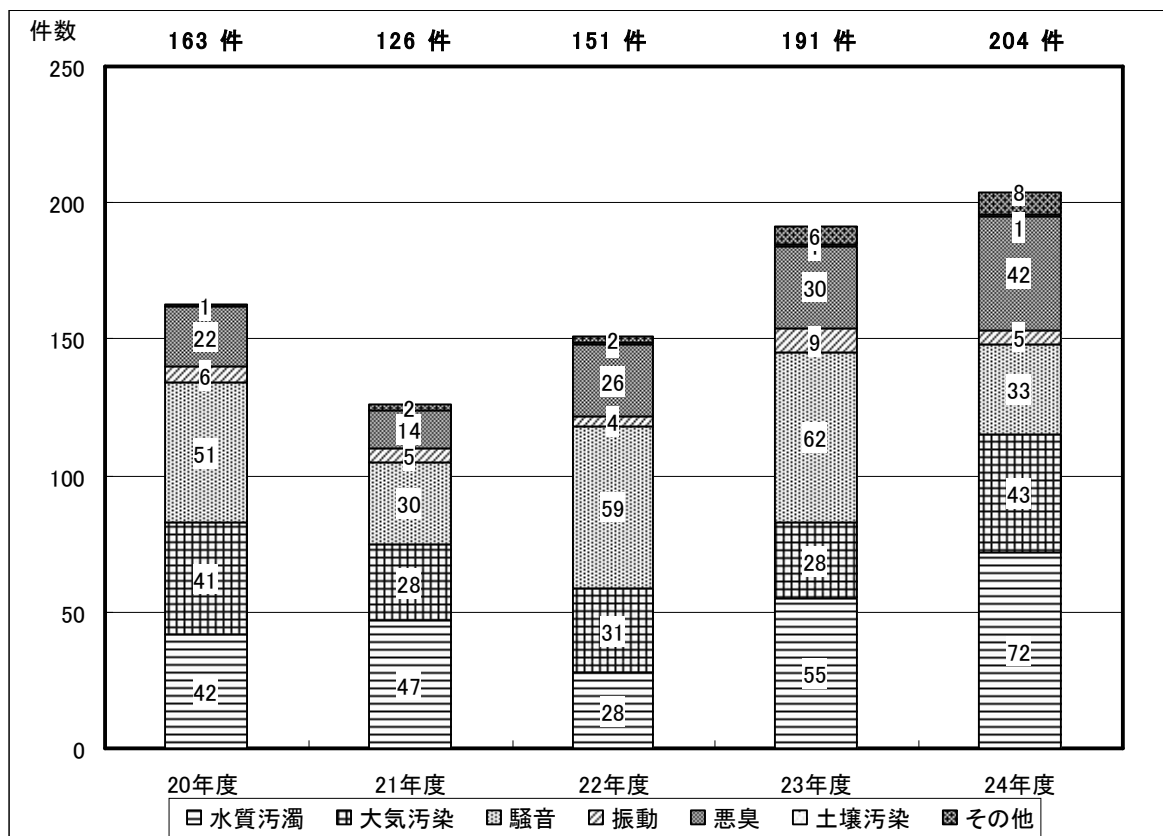


図 4-2 公害苦情件数の推移

(1)大気汚染

大気汚染に関する苦情は42件で、苦情全体に占める割合の約20.6%でした。

発生源の主な原因は、廃棄物の焼却によるものが30件(家庭生活16件・事業所13件・不明1件)と最も多く、次いで建設・解体作業に伴う粉じんによるものが8件、事業所からの排ガス・粉じんによるものが2件でした。廃棄物の野外焼却については、ごみ減量推進課・各区役所のまちづくり推進課でも対応しています。

(2)騒音

騒音に関する苦情は72件で、苦情全体に占める割合は約35.3%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う騒音が28件と最も多く、次いで工場、サービス業等の事業活動に伴う機械・設備の音や作業音が18件、店舗駐車場などからの拡声器騒音が3件、鉄道走行などの移動発生源からの騒音が3件となっています。

(3)振動

振動に関する苦情は5件で、苦情全体に占める割合は約2.5%でした。

発生源の主な原因は、建設作業に伴う振動が4件、工場、サービス業等の事業活動に伴う機械・設備の音や作業音が1件となっています。

(4)悪臭

悪臭に関する苦情は43件で、苦情全体に占める割合の約21.1%でした。

発生源の主な原因は、製造業、飲食店等の事業活動に伴う臭いが11件、畜産・農作業などの農業に伴う臭いが6件、建設工事に伴う悪臭が5件となっています。

2 発生源の業種

公害苦情の発生源となった業種は多い方から建設業、サービス業、卸売り・小売業・飲食店、製造業、農業の順になっています。

また、内訳の中で、不明が約25.5%と大きな割合を占めていますが、これは水質汚濁や大気汚染の発生源が特定できないケースが多いためです。(表4-1)

表4-1 公害苦情の発生源業種

業種	公害の種類	水質汚濁	大気汚染	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	その他	合計	
									件数	構成比(%)
農業		2	1	1	0	5	0	1	8	3.9
林業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
漁業・鉱業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
建設業		2	8	28	4	6	0	0	48	23.5
製造業		0	4	6	0	4	0	0	14	6.9
電気、ガス、熱供給・水道業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
運輸・通信業		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
不動産業		0	1	1	0	0	0	0	2	1.0
卸売り・小売業・飲食店		2	1	9	0	6	0	1	19	9.3
サービス業		0	8	8	1	4	0	0	21	10.3
医療・福祉		0	0	1	0	0	0	0	1	0.5
学習支援・公務		0	0	2	0	1	0	0	3	1.5
家庭生活		0	17	9	0	7	0	1	34	16.7
その他		0	1	0	0	1	0	0	2	1.0
不明		27	1	7	0	9	1	5	52	25.5
合計		33	42	72	5	43	1	8	204	100.0